

中央社会保険医療協議会 診療報酬基本問題小委員会（第98回）  
議事次第

平成19年8月29日（水）  
於 全国都市会館第2会議室

議 題

- 今後のDPCの在り方について

## 今後のDPCの在り方について

### 目的と経緯

- DPCは良質な医療を効率的に提供していく観点から、それまで慢性期医療等を中心に進められてきた入院医療の包括評価を拡大することとし、大学病院から順次導入が進められてきた。

平成10年11月	国立病院等における「急性期入院医療の定額払い方式」 (日本版 DRG/PPS)の試行開始		
平成13年11月	特定機能病院へのDPC導入の提案		
平成14年4月	特定機能病院へのDPC導入が決定		
平成14年9月	中医協基本小委における検討の開始		
平成15年4月	特定機能病院におけるDPCの導入	支払い対象病院	計82病院
		調査対象病院	計92病院
平成15年7月	診療報酬調査専門組織DPC評価分科会の設置、DPCの評価の開始		
平成16年3月	国立病院等における「急性期入院医療の定額払い方式」 (日本版 DRG/PPS)の試行終了		
平成16年4月	「DPC調査協力病院におけるDPCの試行的適用」 (支払い対象病院の拡大)の実施	支払い対象病院	計144病院
		調査対象病院	計51病院
平成17年7月	調査対象病院の拡大	調査対象病院	計228病院
平成18年4月	支払い対象病院及び調査対象病院の拡大	支払い対象病院	計360病院
		調査対象病院	計371病院
平成19年7月	調査対象病院の拡大	調査対象病院	371病院+約700病院

### DPCの基本方針 (平成15年3月閣議決定)

急性期入院医療については、平成15年度より特定機能病院について包括評価を実施する。また、その影響を検証しつつ、出来高払いとの適切な組合せの下に、疾病の特性及び重症度を反映した包括評価の実施に向けて検討を進める。

## DPCの現状

- 平均在院日数については年々短縮していることが調査により示されている。一方で、包括払い方式の導入により、粗診粗療が起きる可能性が指摘されていたが、調査ではそのような状況は認められず、在院日数の平均が長い診断群分類の患者や救急搬送による患者も導入前と同様に受け入れていることが分かった。これより、DPC制度の導入により医療の効率化が進んでいると言える。
- DPC対象病院については、在院日数の平均や再入院率など提出されたデータが公開されており、医療の透明性が保たれている。
- DPC対象病院・準備病院については、導入当初と比較して、病床規模や診療体制において、多様な医療機関により構成されるようになった。

## 今後の在り方

- 現在、病床規模の大きな総合病院から、いわゆる専門病院まで幅広くDPC対象病院となっており、今年度も多数の医療機関がDPC準備病院に応募している。このような状況を踏まえ、DPCが今後どのように運営されていくべきか検討する必要がある。

## 検討すべき課題

- DPC対象病院数の拡大に伴い、制度・運用の見直しが必要ではないか。
  - ・ 現在のDPC対象病院、準備病院には、充たすことが望ましいとされている基準に完全には合致していない病院も多く、多様な医療機関が含まれている。今後、どのような基準とすべきか。
  - ・ 診断群分類の決定が不適切な事例が認められているにも関わらず、レセプト上の情報のみでは審査を行うことが困難なケースが存在するが、適切な算定・請求ルールをどのように構築すべきか。
  - ・ 粗診粗療の防止のために、新たなルールの設定をどのように検討すべきか。
- 医療機関別係数について、どのように対応するか検討すべきではないか。
  - ・ 多様な医療機関がDPC対象病院と成り得ることを踏まえ、各医療機関毎の特性を適切に評価するための新たな係数が必要ではないか。
  - ・ 新たな係数の導入について検討するとともに、DPC制度の円滑導入のため設定された調整係数については、廃止することとしてはどうか。

中医協答申附帯意見（平成18年2月15日中医協総会決定）

DPCについては、円滑導入への配慮から制度の安定的な運営への配慮に重点を移す観点も踏まえ、調整係数の取扱いなど、適切な算定ルールの構築について検討を行うこと。

平成18年度DPC対象病院の基準

○ DPC対象病院となる希望のある病院であって、下記の基準を満たす病院とする。

- ・ 看護配置基準 10：1以上であること
- \* 現在、10：1を満たしていない病院については、平成20年度までに満たすべく計画を策定すること
- ・ 診療録管理体制加算を算定している、又は、同等の診療録管理体制を有すること
- ・ 標準レセ電算マスターに対応したデータの提出を含め「7月から12月までの退院患者に係る調査」に適切に参加できること

○ 上記に加え、下記の基準を満たすことが望ましい。

- ・ 特定集中治療室管理料を算定していること
- ・ 救命救急入院料を算定していること
- ・ 病理診断料を算定していること
- ・ 麻酔管理料を算定していること
- ・ 画像診断管理加算を算定していること

## DPC対象病院・準備病院における病床規模

DPC病院数(準備病院を含む)

病院類型	100床未満	100床以上 200床未満	200床以上 300床未満	300床以上 400床未満	400床以上 500床未満	500床以上	計
平成15年度DPC対象病院	0	0	0	0	0	82	82
平成16年度DPC対象病院	1	12	10	18	7	14	62
平成18年度DPC対象病院	4	20	31	58	36	67	216
DPC対象病院小計	5	32	41	76	43	163	360
平成18年度準備病院	38	88	78	59	49	59	371
計	43	120	119	135	92	222	731
(参考)病院全体 (平17年医療施設調査)	3,558	2,716	1,149	764	354	485	9,026

全国病床規模別病院数とDPC病院数の割合

病院類型	100床未満	100床以上 200床未満	200床以上 300床未満	300床以上 400床未満	400床以上 500床未満	500床以上	計
平成15年度DPC対象病院	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	16.91%	0.91%
平成16年度DPC対象病院	0.03%	0.44%	0.87%	2.36%	1.98%	2.89%	0.69%
平成18年度DPC対象病院	0.11%	0.74%	2.70%	7.59%	10.17%	13.81%	2.39%
DPC対象病院小計	0.14%	1.18%	3.57%	9.95%	12.15%	33.61%	3.99%
平成18年度準備病院	1.07%	3.24%	6.79%	7.72%	13.84%	12.16%	4.11%
計	1.21%	4.42%	10.36%	17.67%	25.99%	45.77%	8.10%

DPC算定病床数(準備病院を含む)

病院類型	100床未満	100床以上 200床未満	200床以上 300床未満	300床以上 400床未満	400床以上 500床未満	500床以上	計
平成15年度DPC対象病院	0	0	0	0	0	67,330	67,330
平成16年度DPC対象病院	65	1,821	2,519	5,822	3,000	10,011	23,238
平成18年度DPC対象病院	252	3,096	7,815	19,990	15,950	39,940	87,043
DPC対象病院小計	317	4,917	10,334	25,812	18,950	117,281	177,611
平成18年度準備病院	2,673	13,511	19,240	20,146	21,544	36,867	113,981
計	2,990	18,428	29,574	45,958	40,494	154,148	291,592
(参考)病院全体 (平17年医療施設調査)	121,734	181,679	114,083	143,208	95,494	248,001	904,199

全国病床規模別一般病床数とDPC算定病床数割合

病院類型	100床未満	100床以上 200床未満	200床以上 300床未満	300床以上 400床未満	400床以上 500床未満	500床以上	計
平成15年度DPC対象病院	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	27.15%	7.45%
平成16年度DPC対象病院	0.05%	1.00%	2.21%	4.07%	3.14%	4.04%	2.57%
平成18年度DPC対象病院	0.21%	1.70%	6.85%	13.96%	16.70%	16.10%	9.63%
DPC対象病院小計	0.26%	2.71%	9.06%	18.02%	19.84%	47.29%	19.64%
平成18年度準備病院	2.20%	7.44%	16.86%	14.07%	22.56%	14.87%	12.61%
計	2.46%	10.14%	25.92%	32.09%	42.40%	62.16%	32.25%

※DPC算定病床数(準備病院含む)は平成18年12月分DPC調査データより集計

※全国一般病床数 904,199床(平成17年10月1日「厚生労働省医療施設調査」)

# DPCの拡大をめぐる論点の整理

## 平成14年改定時

平成14年2月20日中医協総会 答申書 附帯意見

### 【特定機能病院における医療機関別包括評価の導入】

特定機能病院等における入院医療に係る支払い方式を、患者の疾病に応じた医療機関別の包括払いを原則とした方式とする。(概ね1年後を目途に導入を図ること～略～)

## 平成15年改定時

### 1号側・2号側意見

- ・特定機能病院に導入すべき
- ・今後データ収集、分析を行い検証すべき
- ・必要に応じて柔軟に見直しを行うべき



平成15年2月26日中医協総会 答申書 附帯意見

1. 診断群分類等については、実施状況等を踏まえ、柔軟に必要な見直しを一年以内に行うこと。
2. 特定機能病院の機能を適切に評価するという観点から、引き続き、外来の機能の評価の在り方を含めた医療機関別の評価の指標について検討を行うこと。
3. 包括評価の範囲について検討を行うこと。
4. 包括評価については早期に実施されるよう努めること。また、実施の猶予期間については、大学病院における準備状況を把握の上、必要な措置について検討すること。

### 【特定機能病院等におけるDPCの導入】

- 対象病院 大学病院、国立がんセンター、国立循環器病センター(計82病院)
- 診断群分類総数 2,552(うち包括対象分類1,860)

## 平成16年改定時

### 1号側意見

- 対象病院拡大を推進
  - ・患者・家族がわかりやすい
  - ・過剰診療の解消
  - ・医療の効率化
- 実施したい一般病院も対象とすべき

### 2号側意見

- 対象病院拡大に慎重
  - ・患者選別の恐れ
  - ・粗診粗療の恐れ
  - ・医療の硬直化
- 検証が十分行われるまでは特定機能病院等のみ対象とすべき

平成16年2月13日中医協総会 諮問(抜粋)

～略～大学病院に加え調査協力医療機関について本支払方式を試行的に適用して～略～

平成16年2月13日中医協総会 答申書 附帯意見(抜粋)

急性期入院医療については、DPCや手術の施設基準などについて、必要なデータの整備や分析体制の強化等を図り、その評価の検証を行うこと。

### 【DPC対象病院の拡大及び診断群分類の見直し】

- 対象病院 特定機能病院82病院(H15年度)+62試行的適用病院(H16年度) 計144病院
- 診断群分類総数 3,074(うち包括対象分類1,726)

## 平成18年改定時

### 1号側意見

- 対象病院拡大を推進
  - ・在院日数の短縮
  - ・過剰診療の解消
  - ・医療の効率化
- 実施したい一般病院も対象とすべき

### 2号側意見

- 対象病院拡大に慎重
  - ・粗診粗療、アップコーディングの恐れ
  - ・検証を十分行うべき
- 実施したい一般病院も対象とすべき
  - ・他の病院と比較することにより医療の標準化が出来る
  - ・DPCにより職員のコスト意識が高まる
- 医療の質を担保するためのDPC対象病院の基準が必要

平成18年2月15日中医協総会 諮問(抜粋)

急性期入院医療における診断群分類別包括評価(DPC)による支払対象病院を拡大する

平成18年2月15日中医協総会 答申書 附帯意見(抜粋)

DPCについては、円滑導入への配慮から制度の安定的な運営への配慮に重点を移す観点も踏まえ、調整係数の取扱いなど、適切な算定ルールの構築について検討を行うこと。

### 【DPC対象病院の拡大及び診断群分類の見直し】

- 対象病院 82病院(H15年度)+62病院(H16年度)+216病院(H18年度) 計360病院
- 診断群分類総数 2,347(うち包括対象分類1,438)



## (参考)

### 平成18年DPC対象病院の基準

- DPC対象病院となる希望のある病院であって、下記の基準を満たす病院とする。
  - ・ 看護配置基準 10:1以上であること
  - \* 現在、10:1を満たしていない病院については、平成20年度までに満たすべく計画を策定すること
  - ・ 診療録管理体制加算を算定している、又は、同等の診療録管理体制を有すること
  - ・ 標準レセ電算マスターに対応したデータの提出を含め「7月から12月までの退院患者に係る調査」に適切に参加できること
- 上記に加え、下記の基準を満たすことが望ましい。
  - ・ 特定集中治療室管理料を算定していること
  - ・ 救命救急入院料を算定していること
  - ・ 病理診断料を算定していること
  - ・ 麻酔管理料を算定していること
  - ・ 画像診断管理加算を算定していること

## 望ましい基準の届出要件と医療機関数

	人的要件	施設要件	その他の要件	*1 届出医療機関数
特定集中治療室管理料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専任の医師が常時勤務</li> <li>・2:1看護配置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1床あたり15平方メートル以上</li> <li>・必要な装置、器具</li> <li>・バイオクリーンルーム 等</li> </ul>	・特になし	554 病院 3,750 床
救命救急入院料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専任の医師がセンター内に常時勤務</li> <li>・麻酔科医の常時待機</li> <li>・看護師のセンター内常時勤務</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都道府県の医療計画に位置づけられている救命救急センター</li> <li>・必要な装置、器具</li> <li>・検査の常時実施 等</li> </ul>	・特になし	188 病院 4,772 床
病理診断料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病理学的検査を専ら担当する医師の勤務(非常勤でもよい)</li> <li>・病理部門の要員を備えていることが望ましい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間の剖検数、生検数が十分で、剖検室や必要な設備、機器等を備えていることが望ましい 等</li> </ul>	・特になし	/
麻酔管理料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常勤の麻酔科標榜医</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・麻酔科を標榜していること 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・麻酔前後の診察及び各種麻酔を麻酔科標榜医が全て行った場合</li> </ul>	2,710 病院
画像診断管理加算	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10年以上の経験を有する、画像診断を専ら担当する医師1名以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放射線科を標榜</li> <li>・画像診断管理を行うために十分な体制等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施されたすべての核医学診断及びコンピュータ断層診断を規定する医師が行っていること。(画像診断管理加算2)</li> </ul>	*2(1)751病院 156診療所 (2)868病院 2診療所

\*1 届出医療機関数は平成18年7月1日時点

\*2 (1)・(2)はそれぞれ画像診断管理加算1・画像診断管理加算2の届出医療機関数を示す

## DPC「望ましい要件」の算定について

算定している病院数						
病院類型	病院数	特定集中 治療室管 理料有り	救命救急 入院料算 定有り	病理診断 料有り	麻酔管理 料有り	画像診断 管理加算 有り
平成15年度DPC対象病院	82	80	35	82	81	82
平成16年度DPC対象病院	62	33	8	50	53	50
平成18年度DPC対象病院	216	123	51	194	201	192
平成18年度DPC準備病院	371	114	42	243	309	248
平成19年度DPC準備病院	*702	134	43	342	494	358
合計	1433	484	179	911	1138	930

比率						
病院類型	病院数	特定集中 治療室管 理料有り	救命救急 入院料算 定有り	病理診断 料有り	麻酔管理 料有り	画像診断 管理加算 有り
平成15年度DPC対象病院	82	97.60%	42.70%	100.00%	98.80%	100.00%
平成16年度DPC対象病院	62	53.20%	12.90%	80.60%	85.50%	80.60%
平成18年度DPC対象病院	216	56.90%	23.60%	89.80%	93.10%	88.90%
平成18年度DPC準備病院	371	30.70%	11.30%	65.50%	83.30%	66.80%
平成19年度DPC準備病院	*702	19.10%	6.10%	48.70%	70.40%	51.00%
合計	1433	33.80%	12.50%	63.60%	79.40%	64.90%

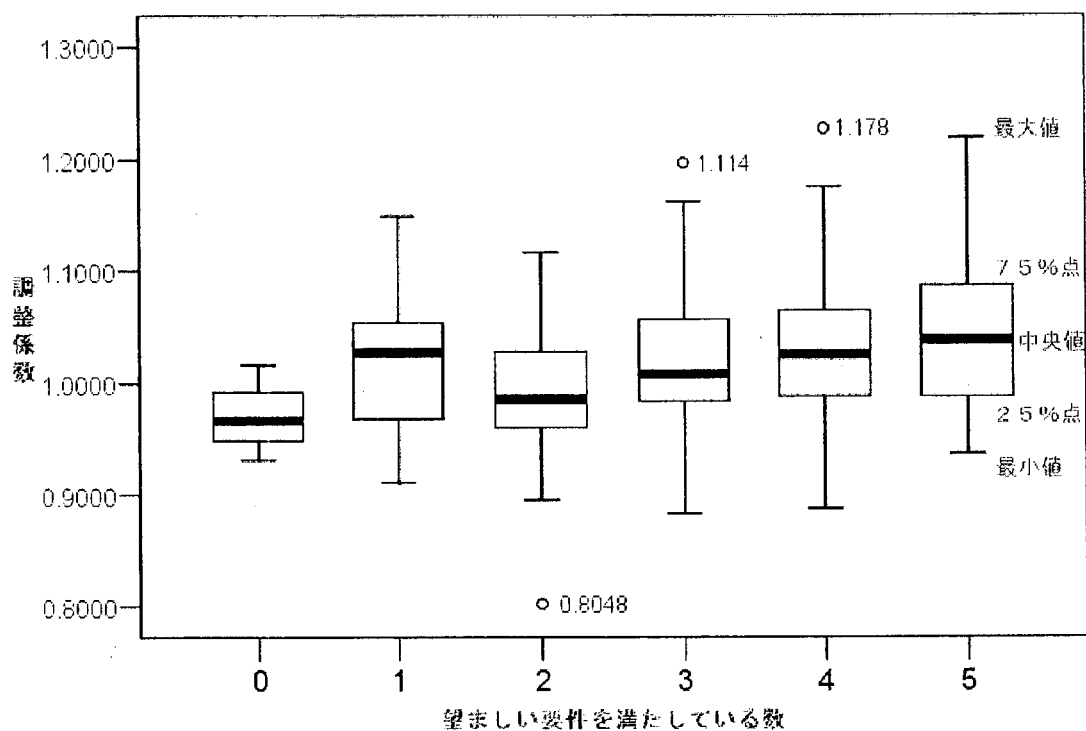
病院類型	望ましい要件算定項目数						合計
	0	1	2	3	4	5	
平成15年度DPC対象病院	0	0	0	2	46	34	82
平成16年度DPC対象病院	3	6	5	20	22	6	62
平成18年度DPC対象病院	2	12	19	49	106	28	216
平成18年度DPC準備病院	25	62	74	111	82	17	371
平成19年度DPC準備病院	130	156	167	137	90	22	*702
合計	160	236	265	319	346	107	1433

病院類型	望ましい要件算定項目比率						合計
	0	1	2	3	4	5	
平成15年度DPC対象病院	0.00%	0.00%	0.00%	2.40%	56.10%	41.50%	100.00%
平成16年度DPC対象病院	4.80%	9.70%	8.10%	32.30%	35.50%	9.70%	100.00%
平成18年度DPC対象病院	0.90%	5.60%	8.80%	22.70%	49.10%	13.00%	100.00%
平成18年度DPC準備病院	6.70%	16.70%	19.90%	29.90%	22.10%	4.60%	100.00%
平成19年度DPC準備病院	18.50%	22.20%	23.80%	19.50%	12.80%	3.10%	100.00%
合計	11.20%	16.50%	18.50%	22.30%	24.10%	7.50%	100.00%

平成19年度DPC調査データ（6月分）から集計

\* 平成19年度DPC準備病院数については今後、変更があり得る

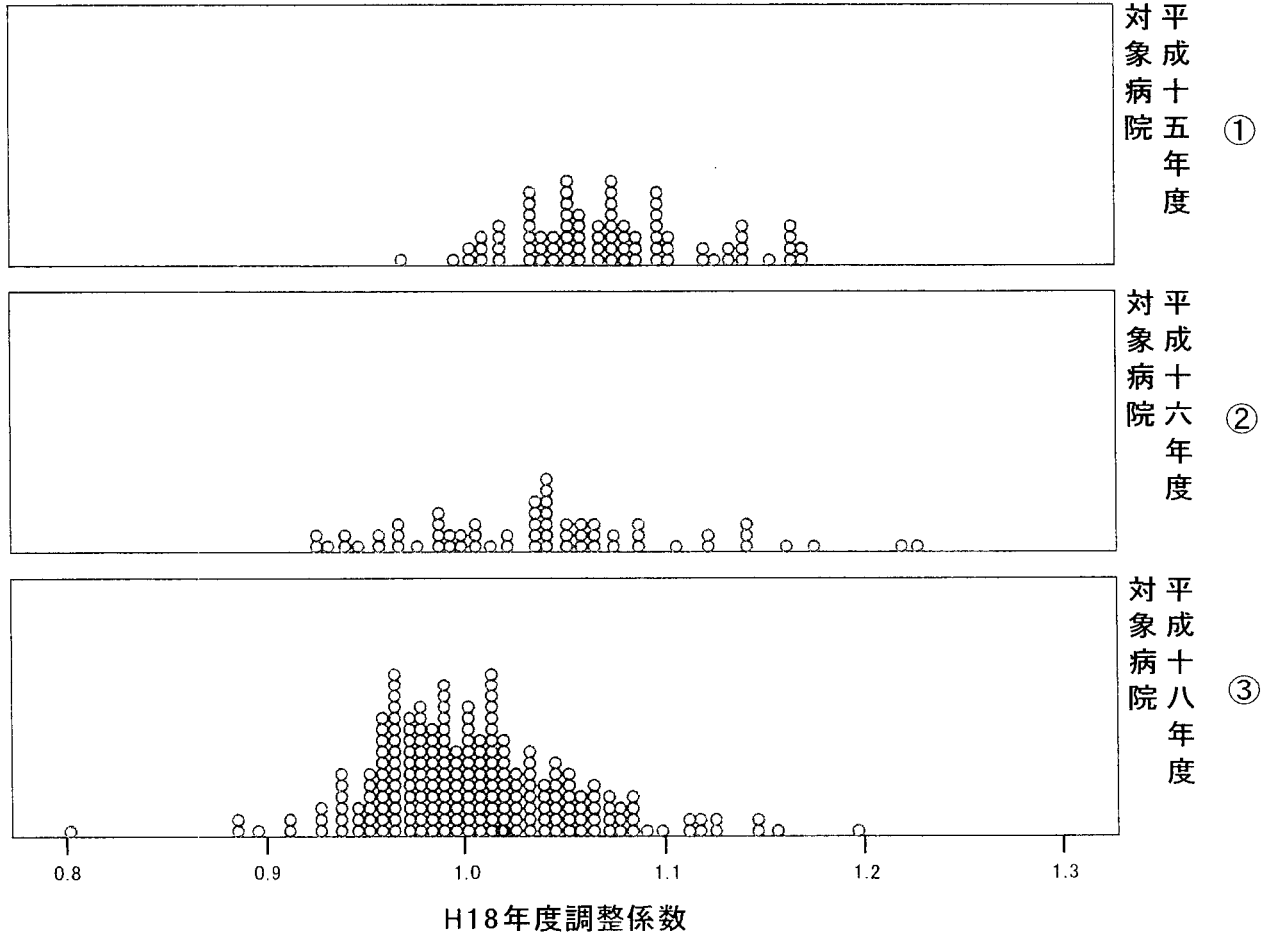
「望ましい要件」を満たしている数と調整係数の関係について



望ましい要件の数	病院数	調整係数				
		最小値	最大値	中央値	平均値	標準偏差
0	4	0.932	1.016	0.967	0.971	0.035
1	16	0.911	1.149	1.028	1.021	0.067
2	28	0.802	1.117	0.986	0.987	0.061
3	77	0.883	1.197	1.008	1.023	0.060
4	166	0.888	1.227	1.025	1.029	0.055
5	69	0.937	1.220	1.038	1.046	0.066

\* 平成18年度DPC調査データから集計

### 病院類型別と調整係数の関係について



病院類型	病院数	調整係数			
		最小値	最大値	平均値	標準偏差
平成15年度DPC対象病院	82	0.9695	1.1701	1.074155	0.0457593
平成16年度DPC対象病院	62	0.9252	1.2274	1.038668	0.0684094
平成18年度DPC対象病院	216	0.8019	1.1971	1.005119	0.0516228

\* 現在の調整係数により集計

## DPC対象病院・準備病院における病床規模

DPC病院数(準備病院を含む)

病院類型	100床未満	100床以上 200床未満	200床以上 300床未満	300床以上 400床未満	400床以上 500床未満	500床以上	計
平成15年度DPC対象病院	0	0	0	0	0	82	82
平成16年度DPC対象病院	2	13	9	17	7	14	62
平成18年度DPC対象病院	4	19	32	58	36	67	216
<b>DPC対象病院小計</b>	<b>6</b>	<b>32</b>	<b>41</b>	<b>75</b>	<b>43</b>	<b>163</b>	<b>360</b>
平成18年度準備病院	39	85	80	64	44	59	371
平成19年度準備病院	148	194	143	105	56	56	702*
<b>準備病院小計</b>	<b>187</b>	<b>279</b>	<b>223</b>	<b>169</b>	<b>100</b>	<b>115</b>	<b>1,073</b>
<b>計</b>	<b>193</b>	<b>311</b>	<b>264</b>	<b>244</b>	<b>143</b>	<b>278</b>	<b>1,433</b>
(参考)病院全体 (平17年医療施設調査)	3,558	2,716	1,149	764	354	485	9,026

全国病床規模別病院数とDPC病院数の割合

病院類型	100床未満	100床以上 200床未満	200床以上 300床未満	300床以上 400床未満	400床以上 500床未満	500床以上	計
平成15年度DPC対象病院	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	16.91%	0.91%
平成16年度DPC対象病院	0.06%	0.48%	0.78%	2.23%	1.98%	2.89%	0.69%
平成18年度DPC対象病院	0.11%	0.70%	2.79%	7.59%	10.17%	13.81%	2.39%
<b>DPC対象病院小計</b>	<b>0.17%</b>	<b>1.18%</b>	<b>3.57%</b>	<b>9.82%</b>	<b>12.15%</b>	<b>33.61%</b>	<b>3.99%</b>
平成18年度準備病院	1.10%	3.13%	6.96%	8.38%	12.43%	12.16%	4.11%
平成19年度準備病院	4.16%	7.14%	12.45%	13.74%	15.82%	11.55%	7.78%
<b>準備病院小計</b>	<b>5.26%</b>	<b>10.27%</b>	<b>19.41%</b>	<b>22.12%</b>	<b>28.25%</b>	<b>23.71%</b>	<b>11.89%</b>
<b>計</b>	<b>5.42%</b>	<b>11.45%</b>	<b>22.98%</b>	<b>31.94%</b>	<b>40.40%</b>	<b>57.32%</b>	<b>15.88%</b>

DPC算定病床数(準備病院を含む)

病院類型	100床未満	100床以上 200床未満	200床以上 300床未満	300床以上 400床未満	400床以上 500床未満	500床以上	計
平成15年度DPC対象病院	0	0	0	0	0	67,003	67,003
平成16年度DPC対象病院	100	2,040	2,193	5,524	3,000	10,034	22,891
平成18年度DPC対象病院	252	2,911	8,087	20,001	15,955	39,831	89,894
<b>DPC対象病院小計</b>	<b>352</b>	<b>4,951</b>	<b>10,280</b>	<b>25,525</b>	<b>18,955</b>	<b>116,868</b>	<b>179,788</b>
平成18年度準備病院	2,679	13,038	19,645	21,981	19,365	36,899	113,607
平成19年度準備病院	8,863	28,021	35,448	35,765	24,639	34,417	167,153
<b>準備病院小計</b>	<b>11,542</b>	<b>41,059</b>	<b>55,093</b>	<b>57,746</b>	<b>44,004</b>	<b>71,316</b>	<b>280,760</b>
<b>計</b>	<b>11,894</b>	<b>46,010</b>	<b>65,373</b>	<b>83,271</b>	<b>62,959</b>	<b>188,184</b>	<b>457,691</b>
(参考)病院全体 (平17年医療施設調査)	121,734	181,679	114,083	143,208	95,494	248,001	904,199

全国病床規模別一般病床数とDPC算定病床数割合

病院類型	100床未満	100床以上 200床未満	200床以上 300床未満	300床以上 400床未満	400床以上 500床未満	500床以上	計
平成15年度DPC対象病院	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	27.02%	7.41%
平成16年度DPC対象病院	0.08%	1.12%	1.92%	3.86%	3.14%	4.05%	2.53%
平成18年度DPC対象病院	0.21%	1.60%	7.09%	13.97%	16.71%	16.06%	9.94%
<b>DPC対象病院小計</b>	<b>0.29%</b>	<b>2.73%</b>	<b>9.01%</b>	<b>17.82%</b>	<b>19.85%</b>	<b>47.12%</b>	<b>19.88%</b>
平成18年度準備病院	2.20%	7.18%	17.22%	15.35%	20.28%	14.88%	12.56%
平成19年度準備病院	7.28%	15.42%	31.07%	24.97%	25.80%	13.88%	18.49%
<b>準備病院小計</b>	<b>9.48%</b>	<b>22.60%</b>	<b>48.29%</b>	<b>40.32%</b>	<b>46.08%</b>	<b>28.76%</b>	<b>31.05%</b>
<b>計</b>	<b>9.77%</b>	<b>25.32%</b>	<b>57.30%</b>	<b>58.15%</b>	<b>65.93%</b>	<b>75.88%</b>	<b>50.62%</b>

※DPC算定病床数(準備病院含む)は平成19年6月分DPC調査データより集計  
 ※全国一般病床数 904,199床(平成17年10月1日「厚生労働省医療施設調査」)

\*平成19年度準備病院数については今後、変更があり得る。

## DPC病院における10対1以上の入院基本料算定状況

一般病棟入院基本料 特定機能病院入院基本料 専門病院入院基本料	①全体の病院数	②DPC対象病院 の病院数	③DPC準備病院 の病院数	②+③=④	④の①に占める割合
7対1入院基本料	818	176	333	509	62.2%
10対1入院基本料	2,033	182	662	844	41.5%
計	2,851	358	995	1,353	47.5%

注)

① 平成19年5月1日現在の各社会保険事務局への届出状況<速報値>

②・③ 平成19年度DPC調査における5月1日時点の状況